

5号

2011.4.22 発行  
福井県美浜町議会

# みはま

議  
会

福井県美浜町議会

# だより



## 春を呼ぶ王の舞 (宇波西神社)



● 2月臨時会	2
● 3月定例会	4
● 一般質問	8
● 委員会報告	10
● 編集後記	12

# 2月臨時会 (2月8日~10日)

第1回美浜町議会臨時会が2月8日から10日まで3日間開かれ、22年度一般会計補正予算、23年度一般会計予算など10の議案について慎重に審議し、原案どおり可決しました。

## 議案等の概要

# 平成23年度骨格予算決まる

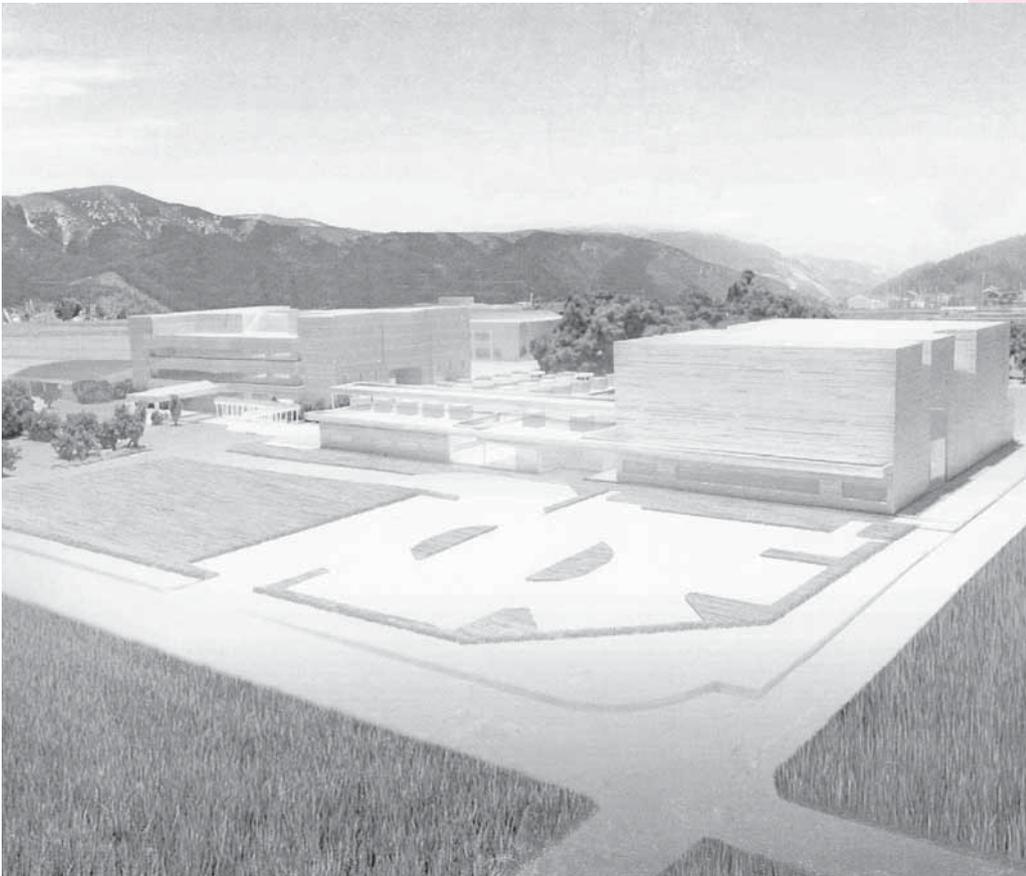
※実際の予算額は千円単位ですが、分かりやすくするため万単位で表示しています。

### 予算案件

●平成22年度一般会計補正予算(第4号)  
今冬の記録的な大雪により除雪対策費(除雪作業委託料)1,500万円増額、生涯学習センター建設事業に係る継続費の年割額等の変更により社会教育総務費8億1,400万円減額となり、差引総額で7億9,900万円減額し歳入歳出それぞれ72億4,917万円とするものです。

●平成23年度一般会計予算  
歳入歳出予算総額は74億6,385万円、子ども手当に係る経費のほか、せらぎ保育園整備事業、生涯学習センター建設事業など、平成22年度当初予算と比較すると6億3,685万円、率にして9.3%の増となっています。

●平成23年度診療所事業特別会計予算  
前年度比1.2%増の1億8,026万円とするもので、繰入金については一般会



〈美浜町生涯学習センター完成予想図〉



〈改修前の美浜南小体育館〉

計から3,670万円計上しています。

●平成23年度国民健康保険事業特別会計  
予算

医療費等の増加を考慮し、前年度比3.9%増の13億756万円とするもので、繰入金については一般会計から7,304万円を計上しています。

●平成23年度後期高齢者医療特別会計  
算

広域連合が運営する後期高齢者医療制度に伴う特別会計で、前年度比5.8%減の歳入歳出それぞれ1億693万円となっています。

●平成23年度介護保険事業特別会計予算  
歳入歳出それぞれ10億369万円（介護保険事業勘定9億9,428万円、介護サービス事業勘定9,41万円となつていす。）

介護保険は、サービスの利用も急速に拡大するなど、老後の安心を支える仕組みとして定着している一方、費用が増大しており予算編成はこれらの状況も勘案されています。

●平成23年度簡易水道事業特別会計予算

歳入歳出それぞれ4,807万円となつていす。繰入金については一般会計から1,279万円を計上しています。

●平成23年度集落排水処理事業特別会計  
予算

歳入歳出それぞれ1億7,521万円となつていす。（各処理施設使用料が見込まれていす。）繰入金については一般会計から7,010万円を計上していす。

●平成23年度公共下水道事業特別会計  
算

公共下水道建設費が22年度と比較すると33%の減となつていす。歳入歳出それぞれ5億1,061万円となつていす。



〈改修前のせせらぎ保育園〉

●平成23年度上水道事業会計予算

収益的収入及び支出に係る予算規模は1億4,194万円、資本的収入及び支出に係る予算規模は5,133万円、合計1億9,327万円となつていす。22年度と比較すると、5,671万円、率にして27%の減となつていす。

## 2月臨時会

### 議案審議結果一覧

◎満場一致可決 ○多数決可決 △保留 ×否決

審議項目	結果	審議項目	結果
平成22年度美浜町一般会計補正予算(第4号)	◎	平成23年度美浜町介護保険事業特別会計予算	◎
平成23年度美浜町一般会計予算	◎	平成23年度美浜町簡易水道事業特別会計予算	◎
平成23年度美浜町診療所事業特別会計予算	◎	平成23年度美浜町集落排水処理事業特別会計予算	◎
平成23年度美浜町国民健康保険事業特別会計予算	◎	平成23年度美浜町公共下水道事業特別会計予算	◎
平成23年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計予算	◎	平成23年度美浜町上水道事業会計予算	◎

# 3月臨時会 (2月8日～10日)

町議会3月定例会が3月10日から23日まで、14日間開かれ、平成22年度一般会計補正予算など24議案、陳情1件について慎重に審議し、原案どおり可決しました。その他、副町長及び固定資産評価審査委員の選任について同意するとともに、人権擁護委員についても適任である旨答申いたしました。

## 議案等の概要

※実際の予算額は千円単位ですが、分かりやすくするため万単位で表示しています。

### 予算案件

●平成22年度一般会計補正予算(第5号)の主な内容

補正予算額16億2,861万円、総額88億7,777万円とするものです。

●平成22年度診療所事業特別会計補正予算(第2号)

総務費242万円、医業費303万円を減額し、歳入歳出それぞれ1億7,208万円とするものです。

●平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)

共同事業拠出金139万円、基金積立金7万円を追加し、歳入歳出それぞれ13億5,366万円とするものです。

●平成22年度老人医療事業特別会計補正予算(第2号)

拠出金168万円を追加し、歳入歳出それぞれ989万円とするものです。

●平成22年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

後期高齢者医療広域連合納付金163万を追加し、歳入歳出それぞれ

1億1,515万円とするものです。

●平成22年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

介護保険事業勘定240万円を追加し、歳入歳出それぞれ10億2,162万円(介護保険事業勘定10億1,557万円、介護サービス事業勘定606万円)とするものです。

●平成22年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

簡易水道事業費38万円を減額し、歳入歳出それぞれ1億5,061万円とするものです。

●平成22年度集落排水処理事業特別会計補正予算(第3号)

集落排水処理事業費576万円を減額し、歳入歳出それぞれ2億4,597万円とするものです。

●平成22年度公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

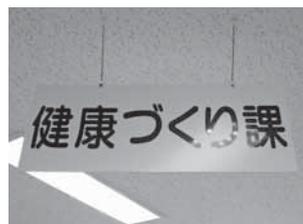
公共下水道事業費2,498万円、公債費164万円を減額し、歳入歳出それぞれ4億8,687万円とするものです。

### 条例案件

●美浜町課設置条例の一部改正

●福祉関連業務の肥大化と健康づくり施策の拡充に伴い、責任と実行の範囲をより明確にするため、健康福祉課を「福祉課」と「健康づくり課」に分けるものです。

●住民安全課が所管する防災(原子力除く)及び防犯(防犯設備に関するこ



課名が変更になりました



●平成22年度上水道事業会計補正予算(第2号)

固定資産除却費2,436万を補正予算額とし、上水道事業費用を1億9,239万円とし、うち営業費用1億7,688万円とするものです。

# 3月定例会 議案審議結果一覧

◎満場一致可決 ○多数決可決 △保留 ×否決

審議項目	結果	審議項目	結果
平成22年度美浜町一般会計補正予算	◎	美浜町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	◎
平成22年度美浜町診療所事業特別会計補正予算	◎	高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金事業基金条例の制定について	◎
平成22年度美浜町国民健康保険事業特別会計補正予算	◎	美浜町みずうみ保育園整備基金条例の制定について	◎
平成22年度美浜町老人医療事業特別会計補正予算	◎	美浜町立図書館運営基金条例の制定について	◎
平成22年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算	◎	美浜町放課後児童クラブ条例の制定について	◎
平成22年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算	◎	美浜町サービスセンターの指定管理者の指定について	◎
平成22年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算	◎	嶺南広域行政組合規約の変更につて	◎
平成22年度美浜町集落排水処理事業特別会計補正予算	◎	美浜町せせらぎ保育園建設工事請負契約について	◎
平成22年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算	◎	美浜南小学校体育館改築工事請負契約について	◎
平成22年度美浜町上水道事業会計補正予算	◎	副町長の選任について(金山 中村春彦氏)	同意
美浜町課設置条例の一部を改正する条例の制定について	◎	固定資産評価審査委員会委員の選任について(久々子 加茂利雄氏)	同意
美浜町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(上野 熊谷純成氏、山上 田中孝治氏)	適任と答申
美浜町せせらぎ保育園整備基金条例及びびすくすく美浜っ子サポート基金条例の一部を改正する条例の制定について	◎	「住宅リフォーム助成制度」実施についての陳情	○
		美浜町生涯学習センター建築工事請負契約について	◎
		美浜町生涯学習センター機械設備工事請負契約について	◎

とを除く)の業務を総務課に移管し、住民安全課の名称を「住民環境課」に改めるものです。

●美浜町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について  
職員給与控除に係る規定を整備するものです。

●美浜町せせらぎ保育園整備基金条例及びびすくすく美浜っ子サポート基金条例の一部を改正する条例の制定について  
預貯金債権の保護を図るため、関係規定を整備するものです。

●国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について  
緊急少子化対策として暫定的に上乘せしている出産育児一時金の支給額を恒久化するものです。

●高速増殖炉サイクル技術研究開発推進交付金事業基金条例の制定について  
エネルギー環境教育体験施設の整備等に必要基金を積み立てるものです。

●美浜町みずうみ保育園整備基金条例の制定について  
みずうみ保育園整備事業に必要な資金を積み立てるものです。

●美浜町立図書館運営基金条例の制定について  
町立図書館の運営に必要な基金を積み立てるものです。

●美浜町放課後児童クラブ条例の制定について  
保護者の就労又は疾病その他の事由により、小学校の放課後や長期休業期間において昼間保育を受けることができない児童の健全な育成を図ることを目的に、放課後児童クラブ(学童保育)を設置するものです。

### その他案件

●美浜町サービスセンターの指定管理者の指定について  
サービスセンターの指定管理者として、社会福祉法人美浜町社会福祉協議会を指定するものです。

●嶺南広域行政組合規約の変更について  
共同処理する事務を改めるため、嶺南広域行政組合規約を変更するものです。

# 常任委員会の動き

3月定例会では、16日から17日にかけて、常任委員会が開催され、各々付託案件の審査が行われたほか、各所管事項について質疑応答、意見要望がなされました。主な討議内容を報告いたします。

総務文教  
常任委員会

6件託

○議案第11号 平成22年度美浜町一般会計補正予算(第5号)

(総務費)

**問** エネルギー環境体験施設整備の概要を説明してください。

**答** 体験交流施設で、展示施設とは異なる。本町の特質を活かし、体験教育施設として、大学や企業の参画を得ながらワーキンググループで検討している。施設費、管理費と合わせて、将来の運営費においても窮する事のないように計画していく。

**問** 財政調整基金は前回、補正されているが、総額はいくらになっているか。

**答** 今回の補正と合わせて、6億2,500万円である。

(民生費)

**問** 子ども手当の減額補正があるが、理由は。

**答** 公務員家庭の対象に当たる、190人の減額である。

**問** 子ども手当がなくなった場合はどうなるか、震災対応での減額指示は現時点であったのか。

**答** 子ども手当は、時限立法なので児童手当に戻る。移行期間の支給方法は国で審議中である。(3月31日、半年延長が参院で可決された)

**問** 再編され、空いた保育所の今後の管理はどうするのか。

**答** 旧新庄保育所は改修し、高齢者の生きがいづくりの場として利用。

**問** 旧菅浜、旧日向保育所は地域の要望を受けて計画を立てていく。旧早瀬保育所は老朽化のため解体を予定している。又、通常の電気料金、小修理は地元負担とするが、天災や大型改修等の費用が生じた場合、地元と協議する。

(衛生費)

**問** 環境衛生組合及び堆肥化設備の負担割合と、見直しはどのようになっているのか。

**答** 衛生組合の負担率は均等割り50..50、人口割り55.7..44.3、利用割り60.9..39.1を合算して最終的に美浜55.5%、旧三方44.5%になっている。堆肥設備は同じく、

美浜53%、旧三方47%となっていて、毎年見直しを実施している。

(農林水産費)

**問** 多数の有害獣を捕獲したが、水質汚染等の心配はないのか。

**答** 適正に処理されていて、心配はないと考える。

(商工費)

**問** 産業活性化対策費の補助金の減額内容は。

**答** 県からNPOに直接支払いがあり、町からは不要になった。

**問** 企業誘致整備事業の維持管理費の減額内容は。

**答** 松原産業団地の草刈り費用の減額である。

(教育費)

**問** 生涯学習センター建設計画の変更はないのか、資金の交付について遅れの懸念はないのか。

**答** 敦賀3、4号機の計画遅れで懸念はしているが、現時点でそのような指示がないので進めている。年度内での入札を完了し、4月中に事務手続きをしていきたい。交付金の遅れ等生じた場合も、本町からの指示により工事が進むようになっている。違約金等損害が生じない様に行きたい。

○議案第21号 美浜町課設置条例の一部を改正する条例の制定について

意見 組織の機能を損なうことなく、サービスの低下をきたさない様にする事。

**問** 町内に設置中の避難所の看板の目線が高くお年寄りに見づらい。又他の方法での啓蒙もあるのではないかと。電柱に設置するには2.5mの高さの規制がある。避難所の看板も発注している。23年度も社会資本整備事業の中で検討をして行きたい。

**答** 海に隣接する避難所に違和感はないのか。

**問** 災害にはいろんな形態が考えられるので、臨機応変で考えたい。

○議案第30号 嶺南広域行政組合規約の変更について

**問** 嶺南地域振興に関して新たな計画が有れば内容を

**答** 新たに広域対象に交付金が発生した場合の対応である。

産業厚生  
常任委員会

15件託

○議案第12号 平成22年度美浜町診療所事業特別会計補正予算(第2号)

**問** 産業医の資格取得費用減についての内容は、又何社の産業医を受託しているのか。

**答** 1名の資格取得費用を計上しているが、資格取得済の為、減額した。23年度未資格者1名の対応を実施したい。丹生診療所で関西電力関係会社の産業医、委託がすべてである。

◎議案第15号 平成22年度美浜町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)

**問** 歳出の項で県への納付金が増となっているが、県全体の増額はいくらなのか、又163万円の額の根拠は。

**答** 県全体の額は資料の持ち合わせがなく不明。福井県後期高齢者医療広域連合納付金は自己負担分を除き、公費5割、現役世代の支援金4割、加入者1割の負担となっている。163万円は当初予算に対し、保険料軽減対象の方が増加したことによる。

**意見** 今後、資料をもって委員会対応をしてほしい。

◎議案第16号 平成22年度美浜町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

**問** 介護保険料について過日アンケートが来た。それぞれ思いがあって、対応に苦慮していると思うが、23年度の保険料はいくらか、又保険料が上がっても、利用に際する手続き等、スムーズでない心配があるがどうか。

**答** 介護保険料は現在、第4期の介護保険計画に基づき運用している。24年度から第5期の介護保険計画が始まり準備に入っており、その一環として住民の意識調査をしている。保険料に関しては、ニーズを正確に見極める必要があり、国の動きを町がどう活かして、住民ニーズに反映するか検討が必要となる。第4期の平均月額額は4,000円である

が、第5期は国の試算で5,200〜5,300円になると言われている。今後検討しながら策定をしていきたい。一方施設整備では、23年度に小規模特別養護施設の計画を進めているが、デイサービスやグループホームの要望も聞いているので、第5期の計画の中で検討したい。

**意見** 引き続き、国、県の動向及び、住民ニーズの掌握に努められたい。

◎議案第17号 平成22年度美浜町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

**問** 歳入について、消費税は交付金の対象にならないとの話だが、今後どうするのか。

**答** 交付金については返還を前提としていない。他の交付金事業に振り分け、全額消化する。

◎議案第19号 平成22年度美浜町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

**問** 公共下水全般にわたって、現在の処理能力が100とすると、今後、集排を公共下水に持つといった場合、更にどれくらいの容量が必要か。

**答** 現在、39%の余裕があるので、計画としては1500立方メートル必要となる。

◎議案第23号 美浜町せせらぎ保育園整備基金条例及びすくすく美浜っ子サポート基金条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 今回の基金の内容と、保険事故と言うのは金融機関の経営破たんに関する事か。

**答** 保険事故と言うのは、金融機関が万一破綻したときの事。この様な場合事前に情報を把握し、対応に努める必要がある。農協、信漁連は全国のセーフティネットにより預金担保がなされている。

◎議案第26号 美浜町みずうみ保育園整備基金条例の制定について

**問** せせらぎ保育園の完成を待たずに、着工するのか。

**答** 23年度から調査に着手したいと考えているが、全体計画は今後検討する。

◎議案第28号 美浜町放課後児童クラブ条例の制定について

**問** 事業の補助は国県からあるのか。

**答** 県からの補助がある。美浜町の場合、指導員の経費は電源立地対策交付金を充てている。その他の経費は利用者の負担金、更に食糧費等の必要経費の半分が県補助である。

**問** 指導員の資格、勤務は。

**答** 指導員は保育士又は教員の有資格者。補助員は資格不要。現職ではなく非常勤で対応したい。

**問** 担当課が健康福祉課になっているのはなぜか。学校教育課でないのか。

**答** これまでも健康福祉課担当で学校や学校教育課と連携して取り組んできた。今後の事は内部で検討を進める。

◎議案第29号 美浜町デイサービスセンターの指定管理の指定について。

**問** ほほえみの施設が手狭で、避難階段の幅、椅子者の利便性、又、階段に荷物を置くなど、緊急性に問題がある。

**答** 施設の拡充、充実については施設からの要望もあり、社協と相談しながら検討する。

**問** 湖岳の郷はデイサービスの利用者が少なく、定員縮小の話が有り、一方ほほえみは多く利用するので拡充する意向と理解する。町内の振り分けを今後どうするのか。

**答** 通所施設の有り方は、周辺要因で変わりやすく難しい。第5期計画の策定において検討をしていく。

**問** 指定管理者の選定は5年毎の見直しとなっているが、公募されたのか。

**答** 今回の指定管理者の選定では、公募方式と特定方式がある。資格要件を満たすのは現在、町内では社協しか無かったので、今回は特定方式により候補者を特定した。

◎陳情第1号 「住宅リフォーム助成制度」実施についての陳情

**意見** 建築業組合からも、よく似た内容の要望が今までから有る。後継者の育成の点からも助成してほしいとの声もある。執行機関は行政であり、制度が必要か否かと言う事になるが、内容は別として、制度は必要と判断する。

# 問 「町に活力」を取り戻すための定住促進対策を

## 答 住民や議会の提案を考慮して計画する

議員 健治 濱野



3期、12年の山口町政の成果は評価するものの、結果として美浜町が豊かな希望の持てる、住みよい町になつたでしょうか、将来につながる地域力がついたのでしょうか。課題の一つは人口の減少傾向です。二つ目は税収トータルの減少です。

今後、町全体の需給バランスを見ながら、他の町の住宅政策も勉強し、進めたい。

「町に活力」を取り戻すための定住促進対策として、宅地分譲の計画について、又新築建て増し時の補助金支援の考え方について。

「町に活力」を取り戻すための定住促進対策として公営住宅の役割と、町内の家庭のあととりが、町外に出ていく理由の分析について。

町内に住みたいと言う希望者がいる限り、その人の暮らしに合った住宅の提供、紹介は必要と考える。その要望を勘案して公営住宅の入居資格を外れる人の居住地の整備が必要と考える。

「個人住宅政策、宅地分譲政策」とも重要な課題。財源が伴うので検討をしていく。

公営住宅の役割は、低所得者を対象にその資格が条例で定められている。町営住宅は293戸あり、100世帯当たり72戸で県下トップである。民間賃貸住宅は町内に約80戸あり又、専門学校の新入学生を対象に、ワンルームマンションも民間にお願いしている。

美浜町も国道27号線の整備、舞鶴若狭道の美浜ICの完成で、敦賀通勤を考えても非常に便利になり、道路に隣接する東地区、耳地区東部は宅地分譲や、アパート団地の適地となる。そういった計画を早期に立てる必要がある。又、美浜町に残る決心で新築する家に補助金を考えてはどうか。

従来、小さな試みとして、7区画の造成をして、8年間で完成しました。今後、大きめの造成、大きめの集団住宅は必要と考えている。

人口減少には複数の要素がある。宅地、住宅、雇用の場、学校、病院、商店、娯楽施設等こういったものに対しての利便性があるので、これらを総合的に底上げする必要があると考えています。

「暮らしにうるおい」を持たせるための雇用促進として、企業

誘致や地元住民採用の方策を示していただきたい。

型にはまった誘致でなく、美浜と言う地域に合った産業、又、地域しかできないサービス（たとえば電気料金）等、アピールしたら。

企業誘致は、地域経済の活性化、雇用の場の確保、新たな税収の確保の為になくてはならない。

ちなみに、誘致した三つの工場からの直接税、固定資産税、そして法人町民税を合わせると多額の税収がある。平成21年に松原産業団地に誘致した関西電子ビームは、原子力との共生の町として誘致が出来た。これを足掛かりに更に展開させたいと考えております。各自自治体の実施している奨励措置、助成措置それから税制の優遇措置等加えて進めていきたいと考えております。

「暮らしにうるおい」を持たせる方策の一つとして、公共事業入札制度等に地域的優位性が付加されているのかどうか。

更に、地域力向上の為に町内、全集落を対象に「村おこし、事業コンペ」等の予算を創設して、伝統文化の継承、

復活、更に道路や水路の補修、有害獣対策緩衝帯の整備等の支援、補助をして地域の活性化を計ってはどうか。

県では250万円以上を一般競争入札としていたが、地元業者に迅速に工事を発注できるような公共事業制度として、嶺南地区で1,000万円以下を指名入札制度として町内業者を重要視した政策をとっている。

この制度により、平成21年度多額の町内業者発注を達成している。又、緊急の災害対策や、除雪対策は地元業者の活動に、負うことが大きい。今後も意識しながら進めたい。

「暮らしにうるおい」を感じられるような、観光の促進と誘客増加策についてお聞きしたい。

特に、一生懸命やっている若手の育成に、行政としてもしっかりと金もだし、口も出して指導していかないと、観光が立ちいかなくなる。

町内の観光資源を発掘、見せ方を考え、工夫して活用していく。又、キャラクター「へしこちゃん」も大いに活用していきたい。

23年度、敦賀市、美浜町、若狭町をめぐる観光バスに1市2町でそれぞれ助成をしていく事を考えています。その他、野菜工場の行政視察の場を設けたり、エネルギー環境教育体験施設等での誘客増を考えている。観光用、案内看板は整備していきたい。

# 般

**問** 美浜町第4次総合振興計画の道路、交通体系の確立という観点から、歴史的な流れを踏まえ、総合的なまちづくりとしての将来を問う。

27号線交差点右折レーン、JR小浜線を横断する南北間の道路他、過去多くの議員が質問しているが、その後明確な行動と実践が示されていない。道路はハードだが、便利な道路は町民も観光客も使いやすいソフトの側面もある。他に避難道路の側面もある。過去を分析し学び、現状を把握し、将来を展望していかねばならない。町長の掲げる生涯学習・観光の充実も直接投資ではなく、間接的だが総合的な広い視野での投資が成功のかぎであると考ええる。

道路・交通体系の確立が、都市計画の明確な方向性をとらえ、ポイントを押さえたものでなければならぬ。戦略は長期的な展望と視野で複合的に考え、力や資源を総合的に運用するもの。戦術は任務を達成するために人、物、金を効果的に配置、移動し運用するもの。町長は戦術でものを考えているとお見受けする。計画的戦略の上で次世代が住み、新規定住も含め、町と町民

の為に町民の代表として長期的な展望と視野で複合的に考え、戦略をどう考え、どう行動し、次世代へバトンパスしていくかを問う。

**答** 都市計画マスタープランを見直す必要がある。

2期目の時に東西の道路は、大体、計画をされていた。舞鶴若狭道・27号バイパス等々動いてなかったが、高速道路も完成の見込みが付き27号のバイパスも完成した。この4年間の行動は財源の確保であり、計画があつて財源がないというのが道路の現状である。ガソリン税は暫定税率で25円ぐらいプラスして、今の財源があつたが一般財源になり道路財源が削られた。私は、これに対する反対運動を県や知事に申し入れた。それで国交省に売り込まないと財源として道路を作りたくてもできない。この地震で財源が全部無くなるとか、補正予算で減額するという報道もあるが本年度、バイパスに続く町内のこの道路、右折車線、県道延伸の調査情報も明確ではないが出てきた状況である。国からの回答をもうう為に、議会と行政は一体となって行動を起こしてきた。町内の4車線化は昭和40年

代に描けていてこれを実現することが大きな問題であり、トップ外交として非常に重要な認識で道路問題は動いている。南北の道路の必要性は感じている。都市計画として美浜町の都市計画マスタープランを立てた。北・南・東地区によって、それぞれ特色あるマスタープランがあり今後、都市計画を見直す必要があると考えている。これは、計画を立てた上で議会の審議もい

ただが必要があり、プロセスを踏んでいきたい。それを実施する為には町民の理解と多額の費用が必要。必要な事は戦術として町民の理解を得ていく事である。右折車線も過去に国交省で動いた時期もあつたが、地権者の理解が得られない箇所もあつた。政府はコンクリートから人へと言っているが、コンクリートもその活用する方策にもお金がかかる。子育てや保育に関する財政支援、高齢化に伴う福祉予算の増大、コミュニティバスの運行、今まで民間が請け負っていたものが、新たに行政負担する政策として出ている。それを踏まえ20年程度の将来を見据えた都市計画をやっていく必要がある。過去、国が動き予算をつける話で動いた

事がやれなかった原因は、地権者を含む地域の理解を得られなかった、計画が悪かった事も大きい。戦略か戦術かわからないが、町民の理解を議会に示した上で得ていく必要があると考えている。



町内南北道・27号右折レーンの必要性

## 問 道路、交通体系の観点からまちづくりを問う

### 答 都市計画マスタープランを

見直す必要があると考える

まつさか たかし 議員  
松坂 隆司



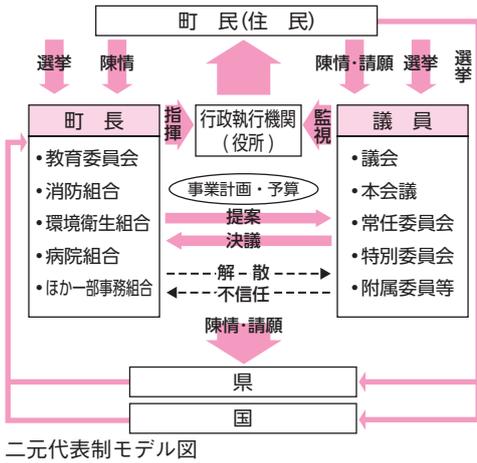
**議会活性化特別委員会**  
 「開かれた議会を目指して」

議会活性化特別委員会は左記に示すような、社会的要因を背景に美浜町でも組織され、全議員の構成で活動が進められている。

- (1) 社会構造の要因…人口減少・地域間格差の拡大・財政事情の悪化
- (2) 制度的な要因…憲法、地方自治法等制度の見直し・地方分権の推進
- (3) 政治的な要因…独自性を主張する首長の出現・住民の自治意識向上

その中で、議会としては「開かれた議会」を目指して、住民の付託に応えることが求められている。

「開かれた議会」とは、住民にわかりやすい議会をめざし「情報公開」「住民参加」「議会活性化」が必要とされているの



二元代表制モデル図

**有害鳥獣対策特別委員会**

で、特別委員会設立後、個人的にも更なる勉強が必要なこと、議員間(複数、全員)での討議がもっと必要である等の反省をもとに、活発な討議をしています。「議会基本条例」作ることが目的ではないが、図に示すように二元代表制の役割をしっかりと果せるように、先行する市町の事例を勉強したり、研修会で共通の課題について討議したりして、活動を進めており今後20回くらいの会合を予定しております。

美浜町に膨大な農作物被害をもたらす有害鳥獣(特にシカ、イノシシ、サル)対策として議会の設置した特別委員会も一年を経過しました。全体を統括する美浜町有害鳥獣対策協議会と協調して、①対策の普及啓蒙体制を設置、集落推進リーダーを中心に有害獣の追い払い等の研修を実施し、猿追いや等に活かしました。②有害獣捕獲体制を充実し、檻、罠免許を町内50数名が取得、町が貸与した檻で有害獣を捕獲しました。③侵入防止、恒久柵設置の基本設計を作成し、補助金の獲得に応じて拡張できる体制を作り、新庄地区から設置を開始しました。この様な、活動を通じ、平成22年4月から平成23年2月末までの捕獲した有害鳥獣の総数は別表のようになっております。今年度は捕獲檻を設置した11月からの捕獲数

	4~6月	7~9月	10~12月	1~2月	小計
シカ	21	109	338	872	1,340
イノシシ	39	222	210	75	546
サル	17	29	75	17	138
その他	10	20	15	2	47
有害鳥	9	9	5	2	25
合計	96	389	643	968	2,096

町内で捕獲された有害鳥獣の数

が急上昇、また降雪量が多かった冬場に更に捕殺数が増加しました。3月末集計の1年間の捕獲数については推進リーダーを通じて報告する予定です。新庄地区で恒久柵の設置工事が2月から始まっており、更に、恒久柵については各集落の要望を聞き、12集落

から早期実施の要請を受けております。恒久柵の基本形は190cmの高さの金網フェンスと、その上に60cmの電柵がついた形です。なお、若狭町と共同で計画している有害獣処理場は、平成23年10月頃に完成する予定です。

**緊急全員協議会**  
 「震災に係る美浜発電所の対策」

3月18日、この度の東日本大震災の甚大な被害、特に福島原発の重大事故を踏まえ、同じく原子力発電所を抱える我町として現状の把握と今後の対策を協議するため、緊急に全員協議会を開催し、関西電力の美浜発電所所長を始め関係者を

招いて、この度の現状を踏まえた今後の対応状況についての説明を求めました。

それによると、全社一丸となって復興支援に取り組むと共に、地震などによる大規模災害に備えた対策に万全を期すため、社長を議長とする総合対策推進会議なるものを立ち上げ、対応体制を確立、若狭湾周辺の津波の起こる可能性、同社発電所の津波評価、安全上重要施設の耐震安全性、全ての電源(全交流電源)が喪失した場合の対応等々についての報告がありました。

特に、同社プラントの全交流電源喪失に対する評価については、  
 ☆日本海側にはプレート境界はあるが、今回のような巨大な津波の原因となる海溝型プレート境界ではない。

☆全電源が喪失した場合は、蒸気で駆動できるポンプを使って蒸気発生器(2次系)に給水し、発生する蒸気を大気に放出することで原子炉を冷却する。(大気放出する蒸気には、放射性物質を含まない)

☆閉じ込める原子炉格納容器は大容量であること。

☆全電源が喪失した場合にも消火水系統による冷却手段がある。

☆使用済燃料ピットは消火水等の補給により冷却できる。

以上のことから、同社の原子力発電所(加圧水型)は、周辺環境に影響を及ぼすような大事故に至る可能性は小さいと考

える。また、今回の事故発生後、直ちに講じた措置として、非常用発電機の健全性の確認等5項目上げておりました。以上が報告の内容です。

議員の中からは、それらに関して多くの質問や、町民皆様に対して丁寧な説明を徹底し安心して頂けるよう努力して頂ける様にとの意見、電力各社が連帯して原子力発電所周辺の被災者の受け入れを積極的に行うべきである等の意見が出されました。

### 議員研修会

平成23年3月7日、美浜町議会全員協

## この度の震災にあたって

3月11日、午後2時46分国内観測史上最大のマグニチュード9.0の東日本大震災が発生し、被災されました方々に心からお見舞い申し上げます。

先日、全員協議会を開催し、関西電力㈱に対し、美浜発電所の現況、今後の対応、町民の安全、安心の確保に対する対策を協議しました。関西電力㈱としても今回の事故を真摯に受け止め、早急に安全確認とその対策を実施していくということです。

また、今回の震災では東北・関東を中心とした多くの地域が甚大な被害を受けております。美浜町としてでき得る限りの支援をしたいということで、議会としても町行政と共に、被災された方々に対する町としての支援について協議しました。

議会議室にて議会議員研修会が行われました。研修内容として、

① 地方議会議員年金制度の見直しについて

(講師：福井県町村議会議長会)

総括参事 伊藤 浩 氏

② 電源交付金について

(説明：企画政策課長)

地方議会議員年金制度は平成23年6月1日に廃止法の施行を予定しております。議員年金制度の沿革・取り組み・全国町村議会議長会の考え方・廃止に向けた総務省の対応方法他、現職議員の年金制度廃止後の給付、OB議員、OB議員

の遺族に対する廃止後の説明を受けました。次に全国的な議会活性化をめぐる動向について、

① 住民の地方議会への評価

② 議会実態調査から見る地方議会の現状

③ 地方議会改革に関する情報提供

④ 今後、地方議会が進むべき方向は？

という観点から、今後の美浜町議会が活性化する為に議員全体で再認識しました。

最後に電源三法交付金制度の理解をさらに深める為に、企画政策課長に説明を受けました。

## 議長 北村 晋

美浜町は地震発生の翌日3月12日には宮城県石巻市へ敦賀市とともに水、おかゆ、毛布を、14日には水を搬送。21日には町単独で宮城県女川町に米・缶詰・へしこ等を、さらに24日、ガソリンや使い捨て食器を搬送いたしました。また、被災者を町営住宅(1戸)に受け入れるなどの支援を行っております。

今後も一日も早い復興を願いつつ、町としての支援体制を検討していきたいと思



陸前高田市米崎町海岸では

## 議会の動き

1月10日	消防議会議員出初め式
20日	美浜・若狭町議会振興協議会
31日	議会運営委員会
2月1日	生涯学習センター建設検討委員会
4日	美浜・三方環境衛生組合議会
8~10日	平成23年第1回臨時議会
16日	関西電力原子力発電所立地町議会連絡協議会
17日	有害鳥獣対策特別委員会
21日	生涯学習センター建設検討委員会
3月7日	議会運営委員会・全員協議会
10日	平成23年第2回定例会
11日	全員協議会
15日	一般質問
16日	総務文教常任委員会
17日	産業厚生常任委員会
18日	関西電力美浜発電所に対して東北地方の地震津波の対応説明
23日	全員協議会・本会議・議会活性化特別委員会・議会広報特別委員会
29日	公立小浜病院組合議会
30日	嶺南広域行政組合議会・敦賀美方消防組合議会
31日	議会運営委員会・平成23年第3回臨時議会・議会活性化特別委員会・議会広報特別委員会

# 委員会構成が一部変わりました

3月10日、第2回定例会が開かれ、副議長に前田義久議員を選出しました。  
また、2常任委員会と議会運営委員会の構成替えをしました。

## 総務文教常任委員会

財政、税、教育、広報に関する事項及び外の常任委員会の所管に属しない事項で、付託された案件などの審査・調査をします。

委員長	副委員長
崎元 良栄	浜野 健治
飯田 豊	前田 義久
松田うめ子	藤本 悟
中村 清一	松坂 隆司

## 産業厚生常任委員会

産業や医療、福祉、上下水道、健康づくりに関する事項で、付託された案件などの審査・調査をします。

委員長	副委員長
兵庫 賢一	宮下 紀興
辻 健一郎	倉田 愛子
樋下 伸嗣	竹仲 良廣
北村 晋	山口 和治

## 議会運営委員会

会期の決定、議事日程など議会の運営に関することを協議します。

委員長	副委員長
藤本 悟	山口 和治
飯田 豊	兵庫 賢一
樋下 伸嗣	浜野 健治

### 副議長就任に当たって

副議長 前田 義久

冒頭に、この度の東日本大震災により尊いお命を亡くされた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された方々やご家族をはじめ関係する皆様に心からお見舞いを申し上げます。

さて私こと、三月定例議会において竹仲副議長に、議員皆様方の力強いご支援と温かいご厚情を賜り、副議長の重責を担わせていただくことになりました。もとより微力ではございますが議長の補佐役として、議会活性化のため誠心誠意努力いたす所存でございます。なにとぞ、今後ともお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

### 低炭素社会に向けて

## 実験船

## 試乗記



船舶のディーゼルエンジンを、リチウムイオン電池（リン酸鉄リチウム）を使用した動力にする事によりCO<sub>2</sub>の70%が削減できるとして、その実用船の実証試験が三方五湖遊覧船をモデルに行われている。3月16日、実験船に試乗させて頂きました。まず、エンジン音は静かで船内のアナウンスや会話は十分聞こえます。次に振動、波動による上下はありますが、微振動は全くなく、飲み物のカップも倒れないようです。速度間は2通りの速度10 km/H、16 km/Hで走行しましたが観光に十分でした。何よりも周りでボートの

練習をしている人たちや、海鳥たちに見える騒々しさや、恐怖感を与えない、やさしい船だなと感じました。まだ船舶用は実験の段階で、コストもやや高めで電池の容積も大きく、使用時間等課題があり、改良していくらしいですが、将来、湖や海で商業用に実用化されるのが楽しみな気持ちでした。



低炭素社会に向けた実験船

## 編集後記



議会だよりも1年を経過し、その様式も徐々にまとまってきたかと思っております。更に町民の皆様からの「文字が小さくて読みにくい」との声から、文字の大きさや表題に工夫をこらしながら進めております。町長選挙や統一地方選の最中、編集委員で春号を発刊させていただきました。

美浜町議会広報特別委員会

【委員長】樋下 伸嗣 【副委員長】山口 和治  
【委員】松坂 隆司・浜野 健治・藤本 悟

兵庫 賢一